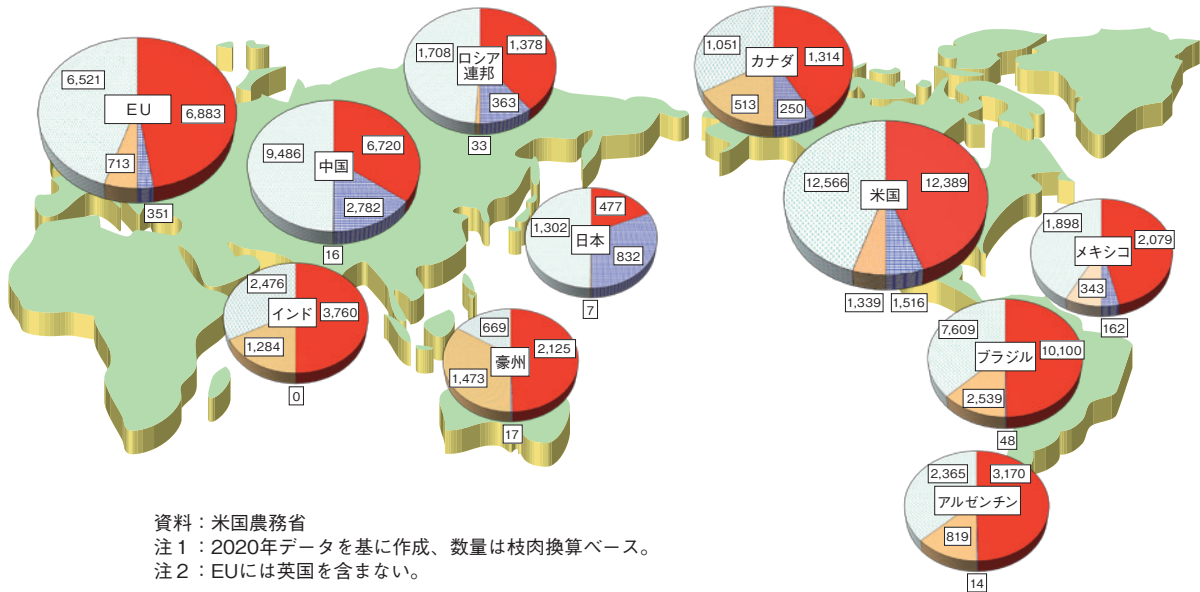


絵で見る世界の畜産物需給

牛肉



消費量(千トン) 生産量(千トン)
輸出量(千トン) 輸入量(千トン)



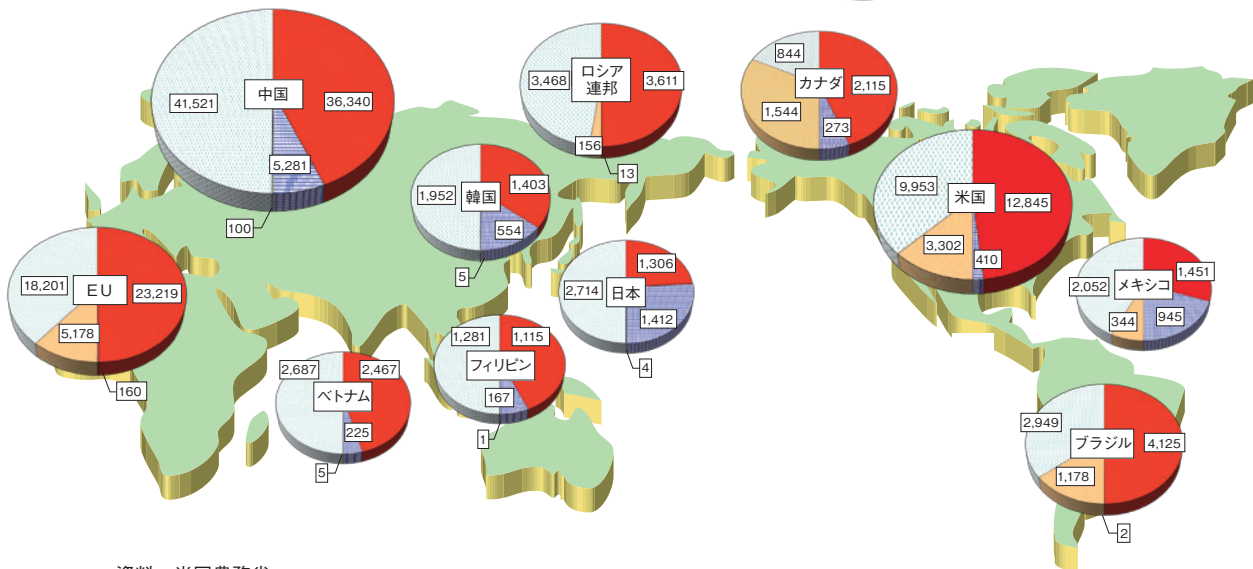
資料：米国農務省
注1：2020年データを基に作成、数量は枝肉換算ベース。
注2：EUには英国を含まない。

2020年の世界の牛肉生産量は、7161万トン（枝肉換算ベース、FAO Food Outlook、2021年11月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、米国（1239万トン）、EU（688万トン）などの先進国のほかに、ブラジル（1010万トン）、中国（672万トン）、インド（376万トン、水牛肉を含む）、アルゼンチン（317万トン）といった新興国である。牛肉消費量は、米国が世界最大の消費国であるが、中国の消費も増加している。一方、ブラジルやインドなど減少に転じたところも存在する。牛肉輸出量は、ブラジル（254万トン）、豪州（147万トン）、米国（134万トン）の順に多い。また、日本への輸出量が多い米国や豪州、カナダ（51万トン）の3カ国で全輸出量の約3割を占める。

豚肉



消費量(千トン) 生産量(千トン)
輸出量(千トン) 輸入量(千トン)



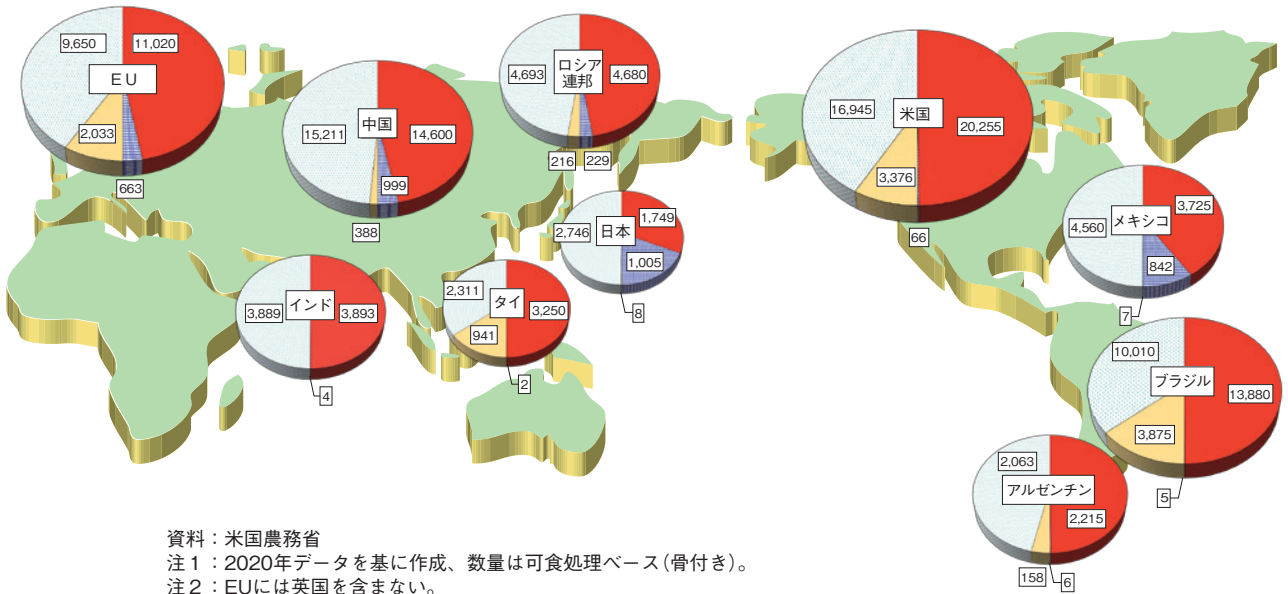
資料：米国農務省
注1：2020年データを基に作成、数量は枝肉換算ベース。
注2：EUには英国を含まない。

2020年の世界の豚肉生産量は、1億972万トン（枝肉換算ベース、FAO Food Outlook、2021年11月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、中国（3634万トン）であり、これにEU（2322万トン）や米国（1285万トン）などが続く。EUや米国は生産量に占める輸出量の割合が高く、中国を中心に輸出量を増加させている。その他の国では、経済成長に伴いブラジル（413万トン）、ロシア（361万トン）、メキシコ（145万トン）の生産量が増加している。中国以外のアジア地域では、ベトナム、フィリピン、韓国などの生産量や消費量が多い。日本は生産量が131万トンであるが、消費量のおよそ半分の141万トンを入力している。

鶏肉



消費量(千トン) 生産量(千トン)
 輸出量(千トン) 輸入量(千トン)



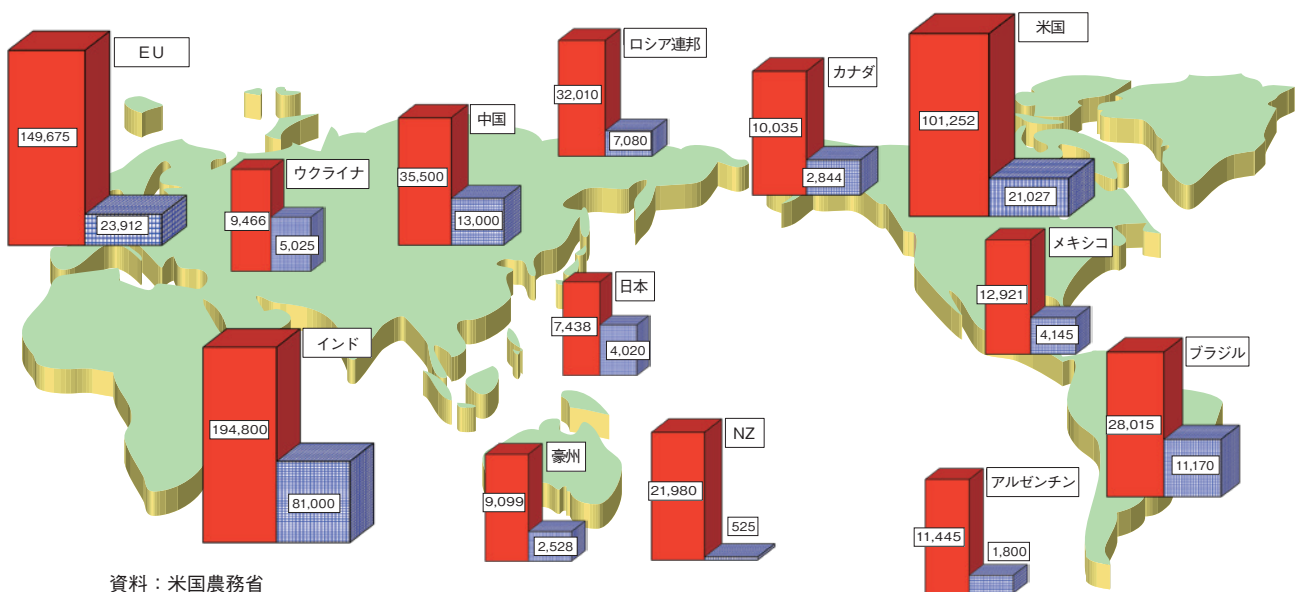
資料：米国農務省
 注1：2020年データを基に作成、数量は可食処理ベース(骨付き)。
 注2：EUには英国を含まない。

2020年の世界の鶏肉生産量は、1億3395万トン（骨付き換算ベース、FAO Food Outlook、2021年11月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、米国（2026万トン）であり、これに中国（1460万トン）、ブラジル（1388万トン）と続く。このほか、EU（1102万トン）、メキシコ（373万トン）、タイ（325万トン）などで増加している。鶏肉消費量は、米国が最大であり、中国（1521万トン）、ブラジル（1001万トン）なども増加している。鶏肉輸出量は、ブラジル（388万トン）、米国（338万トン）、EU（203万トン）、タイ（94万トン）の順に多く、ブラジルと米国で世界の輸出量の約5割を占める。

生乳



生乳生産量(千トン) 飲用乳消費量(千トン)



資料：米国農務省
 注1：2020年データを基に作成、数量は水牛乳を含む。
 注2：EUには英国を含まない。

2020年の世界の生乳生産量（水牛乳含む）は、9億1432万トン（FAO Food Outlook、2021年11月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、インド（1億9480万トン）、EU（1億4968万トン）、米国（1億125万トン）などであるが、インドは水牛乳が生乳生産量の約5割を占める。地域別に見ると、最近では、インドや中国などの生乳生産量の増加が著しい。2020年の貿易量（輸出量・生乳換算）は8599万トンと見込まれ、その貿易率は9.4%と穀物や砂糖、牛肉、家きん肉などと比べて低い。主要輸出国（地域）は、EU、ニュージーランド、米国、豪州などである。